

令和四年度 全日本漢詩大会

文部科学大臣賞

浦上佳奈（東京都国立市）

渡月橋

渡月橋

金風吹過桂江隈

金風吹き過ぐ桂江の隈

楓葉飄零紅作堆

楓葉飄零して紅堆を作す

秋盡橋頭遊客絶

秋尽きて橋頭遊客絶え

中宵惟有月徘徊

中宵惟だ月の徘徊する有るのみ

令和四年度 全日本漢詩大会

二松學舎大学学長賞

高橋純子（東京都杉並区）

江都雪景

江都雪景

月冷深更雪已收

月冷ややかにして 深更 已に収まる

朔風吹袂水邊樓

朔風 袂を吹く 水辺の楼

皚皚九陌人蹤絶

皚皚たる九陌 人蹤絶え

只見墨江分二州

只だ見る 墨江の二州を分かつを

令和四年度 全日本漢詩大会

全日本漢詩連盟会長賞

観水 田沼裕樹（千葉県松戸市）

洛中秋思

洛中秋思

平安城裏雁聲寒

平安城裏 雁声寒し

蕭颯秋風入肺肝

蕭殺たる秋風 肺肝に入る

此夜偏思故郷事

此の夜 偏に思ふ 故郷の事

一書欲寄報平安

一書 寄せて平安を報ぜん  
と欲す

令和四年度 全日本漢詩大会

産経新聞社賞

伯韻 會沢剛史（茨城県東茨城市）

大洗津頭偶成

大洗津頭偶成

海頭風爽浪鱗鱗

海頭風爽やかにして  
浪鱗鱗

相近輕鷗自可親

輕鷗に相近づけば  
自づから親しむべし

落魄江都十年後

江都に落魄すること  
十年の後

今從釣叟學垂綸

今は釣叟に従ひて  
綸を垂るるを学ぶ

令和四年度 全日本漢詩大会

日本吟剣詩舞振興会会長賞 龍外 植林和夫（福井県あわら市）

春望

春望しゅんぼう

越山春信到何遲

越山えつざんの春信しゅんしん 到いたること何なんぞ遲おそき

二月纔看疎影枝

二月にがつ 纔わずかに看みる 疎影そえいの枝えだ

出谷黃鶯初語日

谷たにを出いづる黃鶯こうおう 始はじめての語かたる日ひ

京城紅紫盛開時

京城けいじょう 紅紫こうし 盛開せいかいの時とき

令和四年度 全日本漢詩大会

日本詩吟学院賞

五嶋美代子（神奈川県茅ヶ崎市）

不懷都

都みやこを懷おもはず

山如高閣聳嶙峋

山やまは高こう閣かくの如ごとく聳そびえて嶙りん峋しゆん

鳥若街衢喧噪頻

鳥とりは街がい衢くの若ごとく喧けん噪そうなること頻しきりなり

京邑遙遙千里外

京けい邑ゆう遙よう遙よう千せん里りの外そと

何愁漫叟不逢人

何なんぞ愁うれへん漫まん叟そう人ひとに逢あはざるを

令和四年度 全日本漢詩大会

斯文会理事長賞

玄宇 廣田雅人（神奈川県横浜市）

都城大雪

都城とじょうの大たい雪せつ

亂飄雪後靜無風

乱らん飄ひょうの雪せつ後ご 静せいとして風かぜ無なく

紫陌高樓一白中

紫し陌はく 高こう樓ろう 一いっ白ぱくの中なか

日出雲端光曄曄

日ひ 雲うん端たんをい出いづれば 光ひかり曄よう曄よう

都城忽變水晶宮

都城とじょう 忽たちまちへん變へんず 水すい晶しょう宮きゅうに

令和四年度 全日本漢詩大会

全国漢文教育学会会長賞 誠堂 藤本大輔（長崎県佐世保市）

初夏尋吉野

初夏 吉野を尋ぬ

南朝故廟映青天

南朝の故廟 青天に映じ

山樹陰濃翠色鮮

山樹 陰濃やかにして 翠色鮮やかに

七百春秋如一夢

七百の春秋 一夢の如し

梵鐘無聽但聞蟬

梵鐘 聴く無く 但だ蟬を聞く

令和四年度 全日本漢詩大会

漢字文化振興協会会長賞

太冲 岡田 讓 (東京都渋谷区)

木母寺

木母寺

長堤花落半成塵

長堤 花落ちて 半ば塵と成り

梅柳山頭芳草新

梅柳山頭 芳草 新たなり

欲弔王孫拜孤塚

王孫を弔はんと欲して 孤塚を拜すれば

不知煙雨濕衣巾

知らず 煙雨の衣巾を湿すを

令和四年度 全日本漢詩大会

二松詩文会賞

培風 小島英治 (東京都港区)

京國花事

京國の花事

京國條風撫頰吹

京國條風頰を撫でて吹く

扶筇御苑樂春時

筇に扶りて御苑春時を樂しむ

櫻雲萬朶千金景

櫻雲萬朶千金の景

緬想芳蹊宮女姿

緬想す芳蹊宮女の姿

令和四年度 全日本漢詩大会

大修館書店社長賞

如蘭 曾雌幸己枝（千葉県我孫子市）

清池菡萏

清池の菡萏

曉風一陣度清池

曉風一陣 清池を度り

妍艷芙蕖帶露披

妍艷たる芙蕖 露を帯びて披く

玉頰輕盈如素女

玉頰 輕盈 素女の如く

瑤腮綽約比西施

瑤腮 綽約 西施に比す

令和四年度 全日本漢詩大会

U23 奨励賞最優秀賞

小野寺 健 (東京都豊島区)

詠懷古跡

古跡を詠懷す

古城寂寞作荒叢

古城 寂寞 荒叢と作る

故國興亡若夢中

故國の興亡 夢中の若し

征馬干戈誰所望

征馬干戈 誰か望む所ぞ

霸圖慘憺古今同

霸圖慘憺たること古今同じ

令和四年度 全日本漢詩大会

U18奨励賞最優秀賞

上利真之（埼玉県所沢市）

初秋

初秋しよしゆう

金風孤雁砌蛩寒

金風きんぷう 孤雁こがん 砌蛩せいきよう 寒さむし

修竹桂花懷舊歡

修竹しゆうちく 桂花けいか 旧歡きゆうかんを懷おもふ

銀漢無雲秋漾漾

銀漢ぎんかん 雲くも無なく 秋漾あきよう漾ようたり

玲瓏玉魄過峰巒

玲瓏れいろうたる玉ぎよく魄はく 峰巒ほうらんを過すぐ